

# 西条市版SIB (Social Impact Bond)

～地域に挑戦を生むあたらしい応援のかたち～

西条市市民生活部 地域振興課



# 西条市ではなぜSIBを始めたの？ ～地域の資金循環～

# 西条市の現状～地域のお金の流出

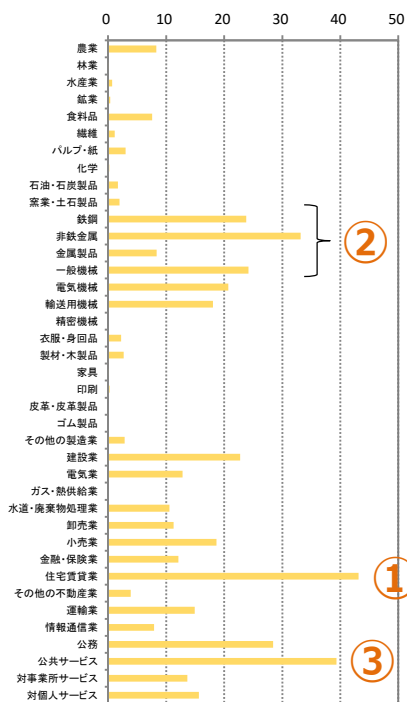
西条市総生産(／総所得／総支出)4,166億円【2013年】

フローの経済循環

## 生産

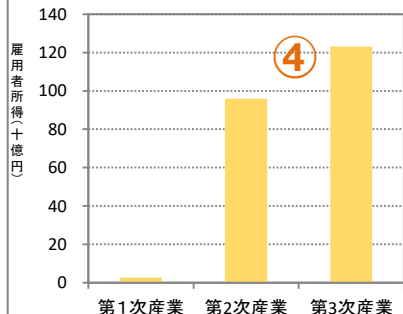
### 産業別付加価値額

付加価値額(十億円)

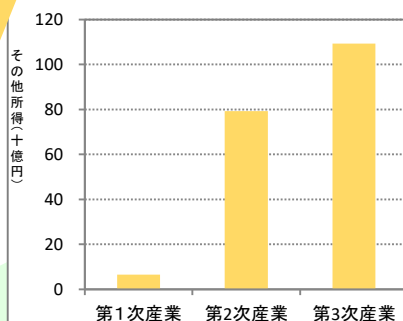


## 分配

### 雇用者所得(2,216億円)



### その他所得(1,950億円)

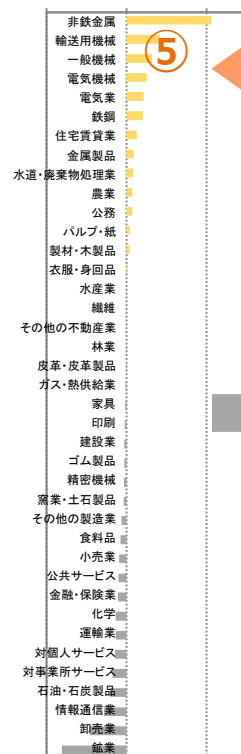


注) その他所得とは雇用者所得以外の所得であり、財産所得、企業所得、税金等が含まれる。

## 支出

### 域際収支(十億円)

-100 0 100



地域外

民間消費の流出：  
約304億円 (消費の約10.0%)

所得の獲得：

非鉄金属、輸送用機械、一般機械、電気機械、電気業、鉄鋼、住宅賃貸業、金属製品、水道・廃棄物処理業、農業、

エネルギー代金の流出

約701億円 (GRPの約16.8%)  
石炭・原油・天然ガス：約689億円  
石油・石炭製品：約207億円  
電気：約209億円  
ガス・熱供給：約14億円

民間投資の流入：  
約86億円 (投資の約7.5%)

消費

3,056  
億円

域際収支

-27

移輸出

5,214

移輸入

5,241  
億円

投資

1,137  
億円

金融機関等

自然資本(環境)

人的資本

人工資本

社会関係資本

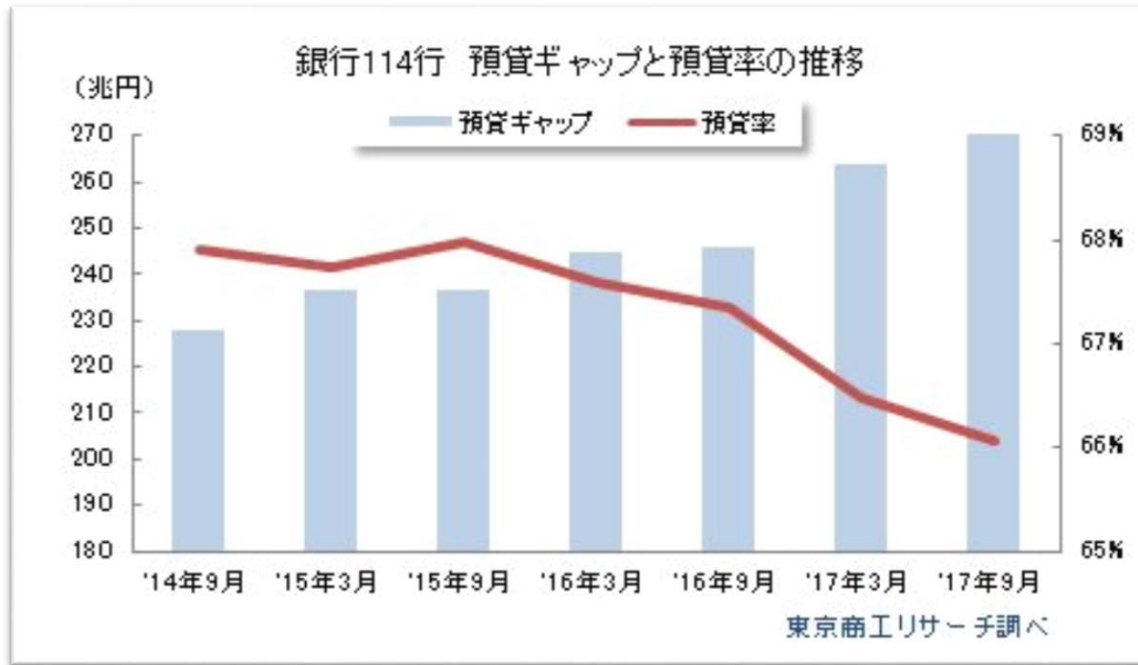
地域資源ストック: フローを支える基盤

注) 消費=民間消費+一般政府消費、投資=総固定資本形成(公的・民間)+在庫純増(公的・民間)

# “預貸率” ～地域のお金が地域でいきている割合～

◆西条市内金融機関の預貸率 38.1% (2018年3月)

◆全国114銀行の預貸率 66.47% (2017年3月)



(全国114行の2017年9月中間決算での単独決算ベース)

西条市内に支店を置く金融機関の預金総額（約7兆円/2017年度末）のうち、約2.7兆円もの額が都市部へ流出

※「預貸率」  
…金融機関の預金残高に対する貸出残高の割合のこと。  
預金によって調達したお金を、どれだけ貸出に回しているかを示す指標。

## ➤ 預貸率の低下

多くが都市への投資に回り、地域内でいかされていない

## 市民による市民のための 地域の貯金箱をつくる。

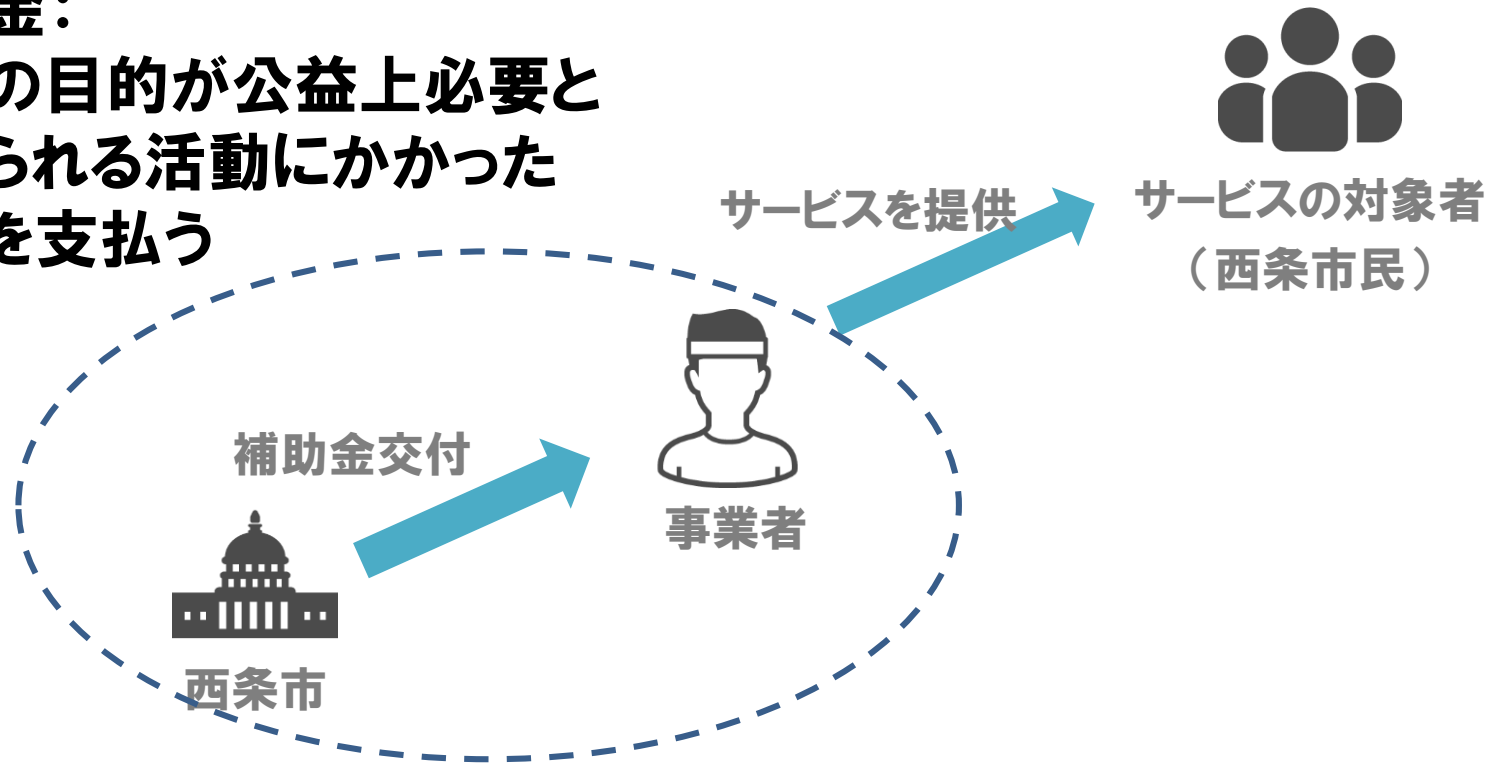
地域社会をささえる様々な分野のチャレンジを、資金面でも応援できるよう、人と人がつながり、温かいお金の流れを生み出す仕組みのことを、西条市では「ローカルファンド」と呼んでいます。



SIBは  
その実証事業の一つ！

# 従来の補助金の仕組み

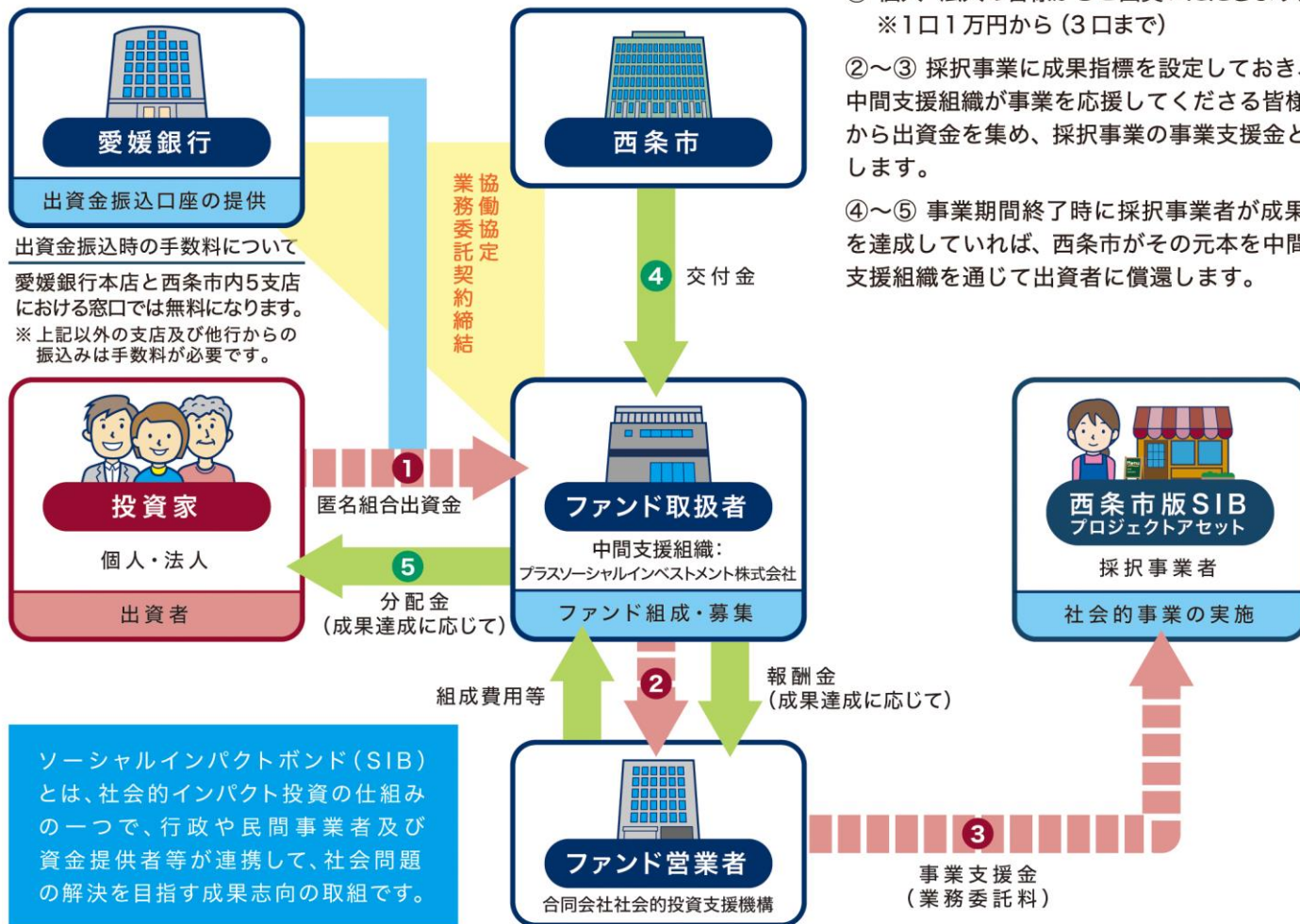
補助金：  
事業の目的が公益上必要と  
認められる活動にかかった  
経費を支払う



- 「行政と事業者」という二者の関係性のもと行われる
- サービス対象者以外には、**「成果」が分かりにくい**
- そもそも、補助金でどのような事業が行われているかさえも **知られていない**

# 補助金事業を西条市版SIBへ(平成30年度～)

## 西条市版SIB事業の仕組み



- ① 個人・法人の皆様からご出資いただきます。  
※1口1万円から(3口まで)
- ②～③ 採択事業に成果指標を設定しておき、中間支援組織が事業を応援してくださる皆様から出資金を集め、採択事業の事業支援金とします。
- ④～⑤ 事業期間終了時に採択事業者が成果を達成していれば、西条市がその元本を中間支援組織を通じて出資者に償還します。

Point 1  
応援する人の  
関わり  
= 出資(投資)で  
事業を実施

Point 2  
成果の見える化、  
成果志向へ

ソーシャルインパクトボンド(SIB)とは、社会的インパクト投資の仕組みの一つで、行政や民間事業者及び資金提供者等が連携して、社会問題の解決を目指す成果志向の取組です。



# SIB実施を通じて一出資者の声

## 出資者の桑村さん



「この年まで生きとったら、地域に何かしら返したい、残したいなと思うようになるんよ。そう思っとる人は珍しくないよ。僕の周りにもたくさん居るよ。

ただ、それを行動に移せんかったり、どうしたら良いんか分からんかったりするんだらうね。潜在的には、何かやりたい人、応援したい人はたくさん居るんよ。

その第一歩を踏み出す、背中を押すものよね。SIBは。地域のことは行政がやることとか、行政任せにするとかじゃなくて、我々市民一人一人がボトムアップして行って、みんなで盛り上げないかと、常々思っとる。

内容は何でもいい。SIBをきっかけに、色んなものが生まれていくんじゃないかなと思うよ。



◀◀ H30の中間報告会での様子  
開発中の商品の状況を事業者に  
質問されている桑村さん

▼インタビューの全文はこちら(西条市地域振興課HP):

<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/chiikishinko/sib010725.html>



★地域で生まれるチャレンジを知る

★出資→「成功してほしい」

応援の「本気度」が高まる

より「自分ごと」化

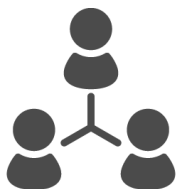


# SIBの実施～目指すところ



事業者さん  
(チャレンジする人)

地域への「想い」  
プロジェクト化・発信



人と人のつながり・  
応援がうまれた

そのアイデアいいね！  
応援するよ！

自分でも何か  
やってみよう！

前向きに応援しあう文化  
さまざまな形で、一人一人が想いを持てば  
実現できる社会へ



# 令和元年度 スケジュール(進め方)

4~5月 ■事業者募集(特産品開発・商業地域等活性化)⇒商業地域は応募無し

5月末 ■書類審査・選考会の開催

(選考会では、プレゼン審査及び事業者と選考委員による協議により、事業終了時に到達すべき成果目標を設定。)

■事業採択・事業スタート【くらしとごはんリクル】

6月 ■出資募集開始(6月19日~)

■出資説明会開催(6月22日)

事業実施

8月頃 ■採択事業者へ出資金(事業支援金)を提供

随時、HPやFB  
などで

10月 ■中間報告会(事業の進捗状況報告・試食交流会)

情報発信

2月 ■事業終了 実績報告

3月 ■審査会(設定した成果目標の到達審査)

(※目標達成時、市から中間支援組織を通じて出資者へ元本償還・利息支払い:翌年度4月にかかる見込み)

■成果報告会(採択事業の成果発表)

**これまでのSIB採択プロジェクトは？**

**～その後の展開～**

## とりや 福(食旬 福)



▲西条市総合福祉センターの東側



▲西条紺屋町商店街でのイベント出店の様子

**今年7月、食旬 福としてオープン1周年！  
予約制のお弁当が好評 7月からは通常営業再開**

## つじ丸（酒ダイニングつじ丸・Caféダイニングつじ丸）



▲小松、ひうちの2店舗とも工夫しつつ  
営業中！テイクアウトもやっています



▲SIBで開発した、西条市特産はだか麦  
のパウンドケーキ(小麦粉不使用)  
「Saita！」



## (株)PENTA FARM



▲農業共済新聞四国版(令和元年12月4日)でも取り上げていただきました！

SIBで開発した、  
規格外果物を使ったフルーツソース「the party sirup」  
周ちゃん広場で好評販売中！  
台湾への展開、ネット販売(「島と暮らす」)も開始しています！